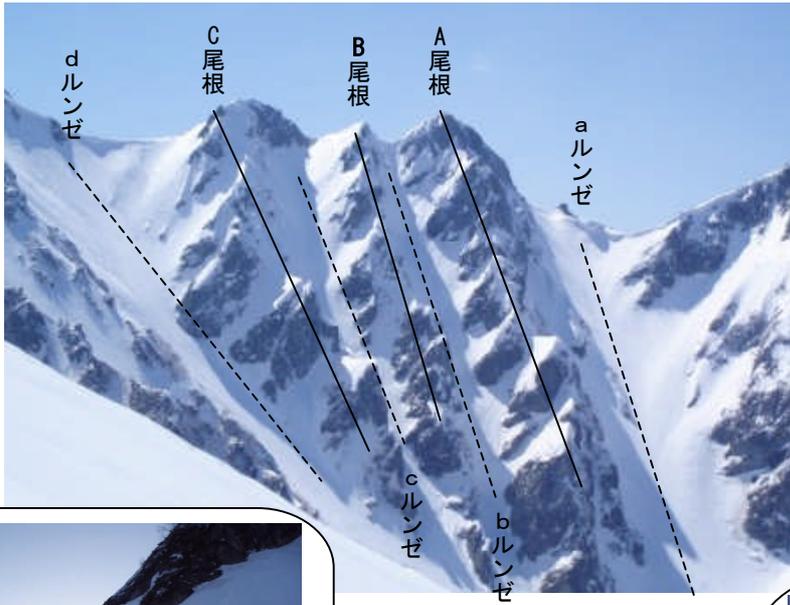


山行記録

名古屋山桂会 清水敏春

名称	不帰岳東面Ⅲ峰 A 尾根
日時	2009 年 4 月 29 日 (水) ~5 月 1 日 (金)
山城	北アルプス、不帰岳、唐松岳
メンバー	O 氏、S 氏、清水敏春
記録	<p>4/29 (水) 晴れ 11:15 八方尾根スキー場ゴンドラ 往復 3000 円 (荷物代含む) 11:45 八方池山荘 (標高: 1850m) 雪の量は 20 数年ぶりなのでよく判らないが、当時よりは少ないように思われる。 15:30 唐松小屋 (標高: 2630m)</p> <p>4/30 (木) 晴れ 7:00 唐松岳本峰南側の唐松沢本谷をアップザイレン 2 回、クライムダウン、で、徒歩で A 尾根取り付きまで下る。 9:00 取り付き 以降、別紙参照</p> <p>5/1 (金) 晴れ 雪の状態がよくないと判断し下山する。</p>
装備	アイゼン、ダブルアックス、9mm*50m ロープ 2 本、ハーケン 3 枚、スノーバー 4 本、アブミ 1 セット (2 本)
写真	次頁参照
所感 備忘録	<ul style="list-style-type: none"> ● ほぼ初めての雪稜、10 数年ぶりのミックスクライミングとなるため、当初からの想定どおりかなり手際が悪く支点作りなどに手間取った。 ● かなり好天には助けられたが、情けない結果であった。 ● アイスクライミング用のアイゼン (グリベル ランボー) で行ったためルンゼでは雪が付着して下駄になるは、岩稜は歩きづらいは、アブミ使用時はアイゼンを外すという苦労をした。また不安定な体勢でのアイゼン脱着であったため、アイゼンを落としたら遭難ものであった。 ● 唐松沢本谷を降りたため A 尾根取り付きまで少し上り返す必要があった。d ルンゼンを降りたほうが正解。 ● 尾根のナイフリッジ上の雪はグラニュー糖のようにサラサラでアイゼン、バイルが効かない。一突きでバイルのシャフト全体が雪面に刺し込める簡単に抜ける。



不帰岳東面の全貌、この左（南側）に唐松岳ピークがある。



16:47 a ルンゼの登り。



13:48 5 ピッチ目
30m 以上ランナウト。途中は支点取れず。



15:48 6 ピッチ目
シャープなナイフリッジ。
ここで敗退。この後スノーボードで
きわどい懸垂を行い a ルンゼへエスケープ。



11:04 3 ピッチ目
右側の凹角をアブミを使って登る



9:33 1 ピッチ目



10:45 2 ピッチ目